

# 「ふくひびき」を用いた鉄コーティング直播栽培の生育目標と耕畜連携の堆肥活用

福島県農業総合センター 作物園芸部稲作科

## 1 部門名

水稲 - 水稲 - 品種、作物栄養、水稲直播

## 2 担当者

藤田智博・佐久間祐樹

## 3 要旨

中通りにおいて飼料用米を75～80kg/aを安定して確保するために、多収性品種「ふくひびき」を用いた鉄コーティング直播栽培の生育目標を作成した(表1)。

- (1) 中通りにおいて鉄コーティング直播(条播)を実施し、目標の粗玄米重75kg/a以上を確保した(表2)。
- (2) 牛・豚糞等木質混合堆肥を施用し、化成肥料由来の窒素施肥量を削減して目標を達成した(表3)。

表1 飼料用米の鉄コーティング直播生育目標

時期	項目	目標値
出芽期	苗立数(本/m <sup>2</sup> )	100程度
幼穂形成 始期	草丈(cm)	65～70
	茎数(本/m <sup>2</sup> )	600～700
	葉色(SPAD502値)	40以上
成熟期・収 穫期	粗玄米重(kg/a)	75～80
	稈長(cm)	74～78
	穂数(本/m <sup>2</sup> )	380～400
	籾数(万粒/m <sup>2</sup> )	3.5～3.8

注) 品種はふくひびき。

表3 試験区の施肥量(kg/a) (H24年)

試験区	窒素施肥量					年計
	基肥	追肥		幼穂形 成期	減数分 裂期	
		(6/27)	(7/4)			
牛糞堆肥 (500kg)	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.8
豚糞堆肥 (80kg)	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.8
化成肥料	0.8	-	-	0.2	0.2	1.2

注) 堆肥は稲わらと籾殻の木質混合堆肥。  
3年間連用、C/Nは16.3～19.8、全Nは1.8～2.0。  
追肥は葉色(SPAD502値)40以上を目標に実施。

表2 生育と収量

(H24年)

	苗立ち			最高分けつ期			幼穂形成期			成熟期・収穫期		
	数 (本/m <sup>2</sup> )	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色 (SPAD)	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色 (SPAD)	粗玄米重 (kg/a)	稈長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	籾数/m <sup>2</sup> (×100粒)		
牛糞堆肥	137	787	39.8	65.7	686	38.7	78.9	75.6	396	346		
豚糞堆肥	123	735	41.6	64.7	671	39.0	77.7	74.1	383	328		
化成肥料	132	876	42.1	71.1	778	39.6	85.8	76.7	448	390		

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成22年度～24年度
- (2) 研究課題名 飼料用米の有機質資材活用による多収栽培技術の開発
- (3) 参考となる成果の区分 (指導 参考)

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 平成22年度～24年度センター試験成績概要